

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	基礎演習 I	小林 俊哉	1年次	春

授業のキーワード	読解
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	大学での学習・研究生生活を送るための基礎技能の修得を目指すのがこの「演習」の目的です。研究をするためだけにことどもならず、さまざまな場面に有用なスキルをいかに研究や実社会での活動に結びつけるのかを会得してもらいます。また日本漢字能力検定(漢検)の合格を目指し、そのための学習も行います。単に漢字を「読む」「書く」という知識だけではなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使える能力を養います。
履修のアドバイス・前提科目等	大学での学習・研究生生活を送るための基礎技能の修得を目指すのがこの「演習」の目的です。「知る」ということ、「なぜ」ということに興味を持ってください。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション		第9講	話す	前講を引き続き口頭発表を継続します。
第2講	読む	主に新聞記事を読み、「読む」ということはどういうことなのか、その基本を学びます。	第10講	合同ゼミ	
第3講	合同ゼミ		第11講	問題解決	「問題解決」の基本を学びます。そもそも問題とは何か、それをどのように処理すれば解決可能になるのかなどを学習します。その上で自分の「問題」を探し解決を試みます。
第4講	読む	第2講を引き続き「読む」ことの学びを深めます。評論を読み文章の要点を理解し、その理解をどのように自分のものにするのか、を学びます。	第12講	問題解決	前講を引き続き、自分の問題の解決を試みます。また他者の問題を聞き、その解決の可能性を探ります。
第5講	聞く	小説の朗読を聴き、「聴いて理解をする」ということの訓練をします。	第13講	合同ゼミ	
第6講	合同ゼミ		第14講	まとめ	これまで学んできた事項のレビューをしながら、必要に応じて進度調整を行います。
第7講	聞く	ニュースを使い、第5講とは異なったジャンルの素材を使い「聴いて理解をする」ことの訓練を継続します。中間課題提出。	第15講	期末課題提出	
第8講	話す	自分のこれまで歩んできた道を振り返り、そこから一つの「物語」を紡ぎ出します。その作業を行った上で、口頭発表をします。	評価方法		中間課題40%、期末課題60%。なお卒業時までに「漢検」に合格することが「基礎演習 I」の成績評価の前提となります。評価方法の詳細は、初回の授業や「合同ゼミ」において説明します。ただし、すでに日本漢字能力検定3級以上を取得している人はこの限りではありません(要証明書)。
備考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
学校指定の漢検テキスト					